

公の施設の見直しの状況について

公の施設については、これまで、財政構造改革プランの施設ごとの方針に基づき、見直しを進めているところであるが、22年度に取り組んでいる施設の現在までの状況は、次のとおりである。引き続き、関係機関等との調整を図りながら、着実に取組を進めていく予定である。

○ 22年度に取り組んでいる施設の状況

	施設名等	見直し方針	最近の状況
22年度に見直しを行う施設	県立児童会館 (保健福祉部、岡山市)	H22年度末までに閉じることとし、子育て支援施策全体の中で取扱を検討。併設の児童遊園地は、当面存続	・建物の耐震診断の結果、補強工事を行えば耐震基準に適合すると診断されたが、今後の方向性については、県有財産の有効活用の意義と、耐震補強等の経費、隣接する生涯学習センターとの関連等を勘案しながら、引き続き検討を行う。
	県立玉島学園 (保健福祉部、倉敷市)	入所児童の処遇に配慮し、H22年度末までに公募により社会福祉法人へ譲渡	・現在、譲渡に向け公募を行っており、10月末までには移譲先候補を選定する予定。
	県立津島児童学院 (保健福祉部、岡山市)	入所児童の処遇に配慮し、H22年度末までに公募により社会福祉法人へ譲渡	
	岡山テルサ (産業労働部、早島町)	H22年度末までに閉じることとし、公募により民間譲渡	・公募による民間譲渡に向け、雇用・能力開発機構との協議や不動産鑑定等を進めるとともに、早島町とも譲渡の可能性について協議を行っている。
設置条例を廃止したが取扱未定の施設	技術振興研修センター (ニューサイエンス館) (産業労働部、吉備中央町)	H20年度末で閉じることとし、公募により民間譲渡	・21年度に公募を実施したが不調となったため、経済情勢の変化を見ながら、譲渡条件の変更も含め、今後の取扱を検討中。
	二十一世紀の森 (農林水産部、吉備中央町)	独立行政法人国立青少年教育振興機構へ譲渡を協議しており、H21年度末までに閉じる	・機構への譲渡不調後、吉備中央町と譲渡について協議してきたが、町から譲渡を受けることは困難との回答があったため、今後の取扱について検討中。
	県立吉備路郷土館 (教育庁、総社市)	H21年度末までに閉じることとし、施設の活用策等を検討し、H22年度に総社市へ譲渡	・施設の活用策等について、総社市と協議を継続中。

基金繰替運用による借入残高

行財政改革・道州制等 特別委員会資料(Ⅱ) 平成22年9月21日 総務部

(単位：百万円)

基金名	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末 見込
長期投資準備基金	4,260	4,260	4,260	4,966	4,966		
三木記念事業基金					73	73	50
文化振興基金					506	506	506
環境保全基金					530	530	530
岡崎嘉平太記念館基金					143	143	143
文化事業振興及び美術品取得基金					1,308	2,124	2,278
社会福祉施設整備基金			1,000	1,300	2,190	2,190	2,190
愛とふれあいの基金					178	178	178
高齢者福祉基金			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
おかやまの森整備公社経営改善推進基金	3,000	3,000	4,000	14,446	14,562	14,562	13,126
図書館等整備基金				540	1,313	1,313	1,249
福祉基金					800	800	800
工業団地開発関連事業基金					723	723	523
合 計	7,260	7,260	10,760	22,752	28,792	24,642	23,073

※長期投資準備基金は21年度に廃止。

※22年度末は、9月補正後予算段階の見込額を計上している。